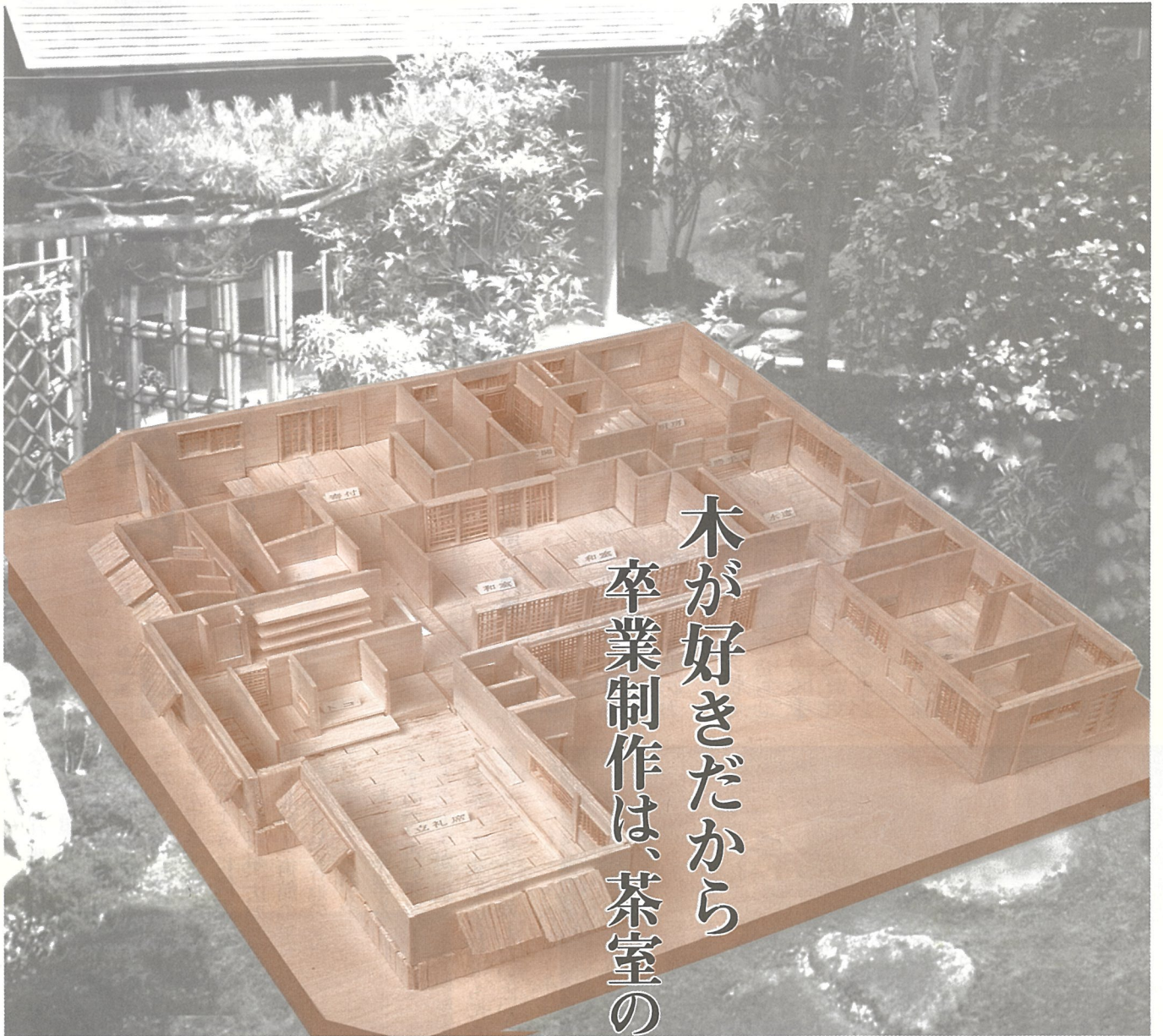


文化通心



木が好きだから
卒業制作は、茶室の模型を。

写真撮影/藤井照芳

弥三川さおりさんは、この春、高松工芸高等学校建築科を卒業した。卒業制作には、バルサ材を使った模型が作りたく、木の特徴を生かした建物ということで、茶室「美藻庵」「晴松亭」を選んだ。

制作日数は、三ヶ月。何度も現場に足を運んだ。できていくのが近づくにつれてどんどん楽しくなった。と話してくれるさおりさんは社会人一年生。大人と子どものギャップに、答えの無いことに今悩んでいるそうだ。とは言うものの、そのつきぬける明るさと、気負いのない前向きな姿勢は、未来への可能性をさわやかに伝えてくれる。

18

1998年6月1日(季刊)

●発行所:
財団法人 中條文化振興財団
〒760-0017 高松市番町2丁目1番12号
TEL. (087) 826-3355 FAX. (087) 826-2212

中條文化財団の拠点

「美藻庵」「晴松亭」完成から一年

発想した人



故中條晴夫氏胸像
(制作 池川 直)

財団設立者、中條晴夫氏は「真」「善」「美」を尊んだ。そして、讃岐香川の文化を尊び、心から愛した人である。

全国でも、あまり例がないと言われる一般に公開された、本格的な茶室が完成して一年が経った。
貸茶室であると同時に、中條文化振興財団の拠点でもあるこの建物に、一年間、多くの方が訪れてくださった。
確かな生命が吹きこまれていることを実感する。

建てた人

数寄屋研究所心傳庵

木下孝一

茶室を手掛けて三十年有余北海道から九州まで七十席ちかくを建ててまいりましたが、四国にはご縁がありませんでしたがこの度、(財)中條文化振興財団のお茶室建設のお話をいただきました。

特に高松には、音丸耕堂先生のお兄様にあたる光悦寺の先々住職・光雪上人とご縁から、この地に茶室を造らせて戴きたいという長年の思いがありました。このような私事の思いと、故中條晴夫氏の文化の継承と創造に寄与していくことを目的とされての公開の茶室であるところから、ぜひ建てさせて戴きたいとお受けしました。

昔のような旦那もいなくなり、税制上建築物は長く保存できないという現状ですが、財団での管理であれば多くの人に利用していただけるので、長く残る茶室を造ることをめざしました。

亭主の客を迎える立場、客で呼ばれた時の茶事の順序を追つての茶室の使い勝手、大勢のお客様の時に、不愉快な思いをせずに支障なく移動ができるかどうか、水屋で手伝う時の使い勝手や台所での音や匂いが席にもれないかどうか

など、官休庵の御家元と芳野宗匠のご助言を戴きながら、考えを重ねていきました。又、茶室と庭とのかねあいも考慮しなければなりません。

また立札席の水屋に勝手口をつけたかったのですが、限られた坪数と建築基準法の建ぺい率の制約もあり、設けることができず悔しい思いをしました。

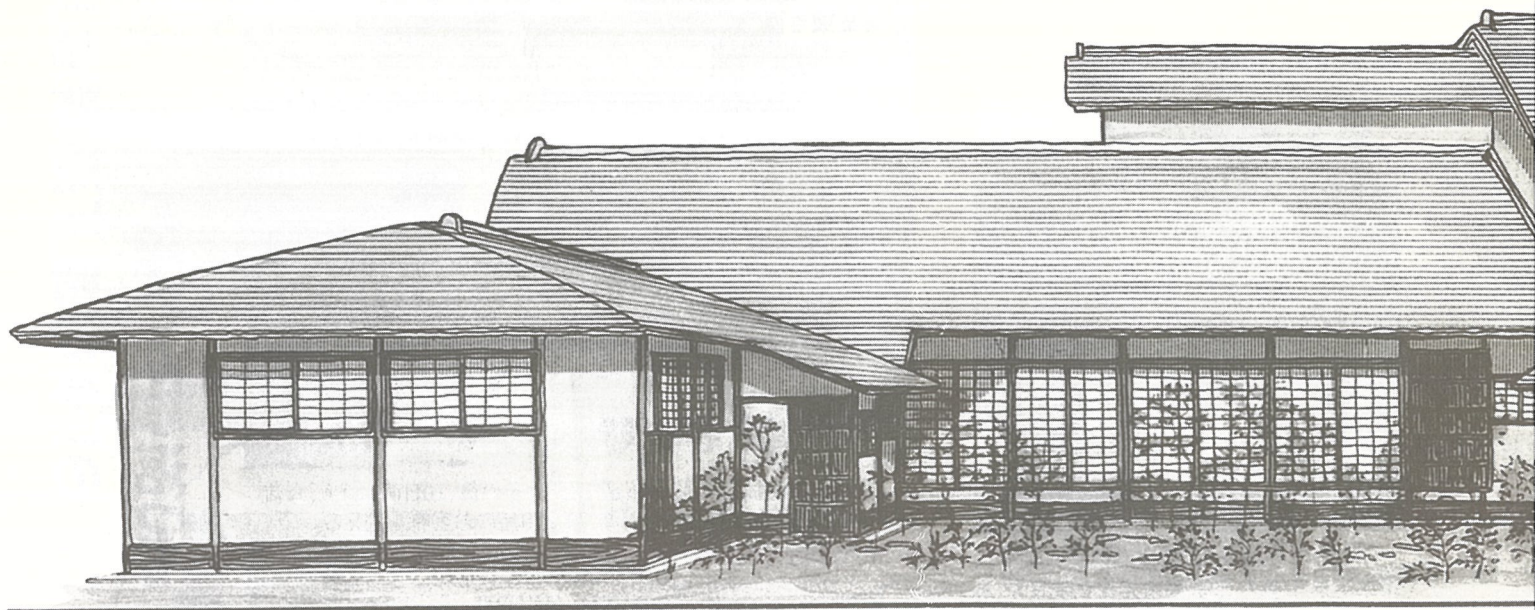
このように図面上で、あらゆる場面を想定して、小間での正式な茶事・広間での茶会を何度となく繰り返しました。時々北村美術館の掛釜の手伝いをさせて戴くのですが、使いたい道具が各地の茶室に合わない事もありまして、館長共々苦労することが多々あります。

こちらの茶室も不特定多数の方々がお使いになると思いますので、古い年代のお道具をおかれても合うように心がけたのですが、思うようにはいかないものです。

お茶は本来、お客様をもてなすためにあり、茶室も中條様の長く後世に残したいという思いを大切にして、修理が



網代を組む木下孝一棟梁



少なくて済むように屋根と足元の構造材に重きをおきました。

最初に修理が必要となるのが屋根ですが、理事長はじめ皆様のご理解をいただきまして屋根材にチタンを使用しました。チタンは銅に比べ材料費は高くなりますが、その耐久性において優れているため、銅葺の修理時の銅材や足場の費用、人件費等を計算すると最終的には銅葺より安価なものとなるので、お勧めしました。

壁は二方が他の建物と隣接している為、これもモルタルより費用はかかるのですが、火災時の延焼からの防火と強度の面で、漆喰を使用しました。モルタルは、現在よく使用されていますが、阪神大震災時にもあつたように、剥がれやすいという欠点があります。

少しでも後の修理がかからないようにとの思いで設計・施行いたしました。そのことに施主のご理解を戴けたことは、この上ない幸せでした。

最後に小竹興業株式会社をはじめ、木材、左官、設備、造園の地元の方々に心良くご協力いただき、感謝いたしております。

今後、より多くの方々に茶室が大事に使われることが、私共の願いです。

茶室完成一周年を迎えられ(財)中條文化振興財団の益々のご発展をお祈り申し上げます。

見つけた人

片山 紘 雄

片山建築設計事務所 片山紘雄会長は、基礎から完成までをていねいに見つけてくださっていた。建築中の現場を通りかかる度に、足をとめて。また、昨年十一月一日に当財団で行なわれた香川県建築士会の茶室見学の資料を、何度も足を運び作成された。

その資料の中、「施工上の特徴」が次のように記されている。『伝統工芸の粋と知恵を生かした、本格的な数寄屋造り

である。木下孝一棟梁が直接指揮して完成させたもので、最低、二百年以上の長い建築寿命が期待できる。』

資料は、基礎工事、木工事、屋根工事、壁工事と続く。片山会長は「すごい建物ですよ。大切に保存したいものだなあ。」とおっしゃる。

使った人

小西 和子

美しい天遊の声、風の笛。先代の中條様のお心が風の笛となつて、『食礼作法に心して豊かに生きろ』と私には聞こえて参ります。御立派な華やいだ晴松亭周年、本当におめでとうございます。

日本人の心を学ぶ晴松亭に私ごととき者が出入りをさせていただき本当に幸福でございます。看脚下と常に思つてはおりますが、今後とも精進させていただきます。

晴松亭が幾久しく、美しい、うれしい場所でありまう様に御進栄をお祈り致しております。



「快気祝いの茶会」として、お使いいただいた小西さん達

「美藻庵」「晴松亭」の 一年をふり返つて



茶室披露

4月15日茶室披露の記念茶会を行う。その後、10日間に渡り、六流派による茶室披露を開催。11日間で1,270名のお客様を迎える。



茶杓削り講座

手作りの茶道具は、愛着も格別。茶道石州流宗家十職の三原啓司先生を奈良よりお迎えして。受講者は、我でさばえに皆ほれまれ。



初心者講座

茶の湯を全く知らない方を対象に、基本的なお茶の飲み方を。その歴史的背景や、茶の湯の心のお話に受講者は興味津津。



月釜

さまざまな流派、趣向でお願いする、財団の月釜。四月の席主は財団の茶の湯委員。『地元の作家、職方の道具を使つて』のテーマに席入りされたお客様より「自分の足元を見直すことの大切さ、地元を大切にしなければ、と感じました」との声。

貸茶室



少人数の茶会から、400名を超える大寄せの茶会まで、幅広くご利用いただいた。写真は、昨年八月三日に行われた淡交会高松支部学校茶道。

打合せ



財団主催の行事には、入念な下準備と打合せが。いつも、心ある協力者の皆さんに支えていただいています。

中條財団行事予定 (六月～八月)

六月月釜

お煎茶の経験のない方、是非お通りください。お吸茶の味わいは、また格別です。

とき 六月二十八日(日)

席主 安部流家元教授 高橋宗初先生

内容 一服・吸茶席と点心席の二席

定員 百五十名(席二十五名で全六席)

席料 三千五百円

※安部流家元がご同席くださいます。

七月月釜(詳しくは、茶華道ガイドを)

席主 未知草会高松教室

とき 七月十八日(土)・十九日(日)

内容 展観席・濃茶席・薄茶席の三席

定員 二百六十名

席料 二千五百円

茶の湯初心者講座 毎月開催

全くお茶を知らない方に。日本の伝統文化「茶の湯」に、楽しく触れる講座です。流派を越えてご参加いただけます。正座のできない方も大丈夫。

とき 六月十四日(日) 18:30～20:30

七月十九日(日) 18:30～20:30

定員 各十五名

受講料 各三千円

お申し込み、お問合わせは、

当財団事務局まで

☎(087)826-3355

平成九年度の活動



文化講演会

「文化とく・ANDみゅうじっく'97
—国・地域・文化—」を開催。
日時：平成9年10月11日(土)13:30~16:00
場所：高松市美術館講堂
入場料：無料
参加人数：85名
出演者：張利利・青山夕夏・井原理代
テーマ：「ドイツ」「中国」「日本」を
代表する音楽のフルート演奏の
余韻のなかで日本文化の特性や
地域文化のありようを探る。



晴友会(中條財団友の会)

対象：いろいろな文化を楽しんでいる方、
楽しみたい方、伝えたい方、また、
創り出そうとしている方ならどなたでも。

期間：第1期平成9年9月1日~平成10年8月31日
会費：年間3,000円
会員数：185名(H10.3.31現在)

晴友会新年交流会の実施

日時：平成10年1月8日
参加人数：65名
内容：新年茶会のあと、9種類の鍋をつつきな
がらわきあいあいとした親睦会。
●楽しかった。肩はらずに初めての方と
多に話がはずみました。
●晴友会は、お茶をしてくれる人しか
入れないのかと思ってましたが、
違うんですね。

声(参加者より)

- シリーズで企画してください。
- 一緒に参加でき、いろんな文化に
ついて庶民感覚で話し合える場を
企画してください。

財団賞・助成金

財団賞・芸術・創作・その他地域文化の
振興に特に寄与した者(団体)に対し賞状と、
奨励金20万円を贈呈する。毎年2名(団体)まで。

平成9年度
受賞者

- 久保隆則氏
(高松市教育委員会山口寮弍教育長推薦)
- お大師山の火祭
(大川町教育委員会木村秀雄教育長推薦)

助成金

平成9年度
交付団体

- 劇団ブチミュージカル(大川郡津田町)
- 人形劇場わくわく運営委員会
(木田郡三木町)
- 子どもごころ美術館(小豆郡内海町)

助成金を頂けることもうれしいですが
それより、自分の活動が認知され
たことがありがたい。励みに
なります。

讃岐・香川の文化の継承と
創造に寄与していくことを
目的とします。

茶道文化

主催事業

●月釜開催

7月(H9.7.21)

席主：中條財団茶の湯委員

9月(H9.9.15)

席主：裏千家松野宗美先生

11月(H9.11.9)

席主：武者小路千家官休庵三好綾子先生

2月(H10.2.15)

席主：武者小路千家官休庵芳野有俊宗匠

(夜咄の茶事も行いました)

●「花リサイタル&茶会」開催(H10.2.1)

出席者：花=竹田豊靖先生 尺八=ウヰ・ワタル氏

茶会席主=安部流家元教授高橋初乃先生

●講座の開催「茶懐石料理」「茶杓削り」

●貸し茶室利用状況(平成9年5月~平成10年3月)

○利用内容は、京都の家元を迎えての
研修会の場に、小人数でおけいこの
場に、また学生茶会として発表の
場に、と幅広い。

○利用日数 82日

○参加人数 約6,500人

文化情報紙

県下の文化活動や文化関係の行事予定を広く
周知、紹介するため無料配布の機関紙「文化通心」
を年4回発行。

発行部数：5000部

配布先：県内教育委員会及び文化協会、文化施設他。
※平成9年6月1日号は、内容を新しくするための
準備で休刊。

声(読者より)

- 県内のイベント情報が網羅されているので、
役立ちます。
- 茶華道の催物を、もっと詳しく知りたいのですが。
- 若い人が参画できるコーナーを
設けてください。

第六回「財団賞」の公募

第六回(平成十年度)「財団賞」の候
補者と団体を次の通り公募します。

選考規程

- ①県内在住者及び本県出身者。地域
文化の振興に貢献した個人及び団
体で十五年以上の活動歴を持つこと。
- ②県下各市町の教育委員会及び市
町の文化協会等からの推薦を必要
とする。

③毎年二名(団体)以内

④財団賞と奨励金二十万円

⑤申請書類締切日

平成十年七月三十一日

⑥申込先

(財)中條文化振興財団

高松市番町二丁目二の十二

☎(087)8269335

平成十年度助成金交付団体決定

●劇団ブチミュージカル(山崎恒人代表)

大川郡津田町

●遇照会(萩田文昭代表)

観音寺市本大町

●劇団タイムステップ(多田謙二代表)

高松市木太町

助成金は、各団体事業報告書及び決
算書提出後、三十万円を上限として、交
付される。

助成金交付申請は、毎年前年度の二月末
までです。詳しくは、財団事務局まで。

茶 華 道 ガ イ ド

一茶流一茶庵久松会 ☎(087)885-2322

6/14 第31回菖蒲茶会「花菖蒲の展観と茶会」9:00~15:00
玉藻公園披雲閣 1,200円

官翠会佐々木社中 ☎(087)821-8777

7/26 第2回香川官休庵学生釜「ゆかた茶会」9:00~16:00
中條文化振興財団茶室 500円

金丸社中 ☎(0877)73-2226

6/21 金丸鳳月 月釜(煎茶) 9:00~16:00 琴平町松尾寺 500円

香川いけばな連盟 ☎(087)861-3284

7/2~5 香川いけばな連盟展「華道一生流・池坊・嵯峨御流・草月流」合同展
前期(2日・3日)後期(4日・5日)
2日・4日(9:00~17:00) 3日・5日(9:00~16:00)
高松市美術館 前売300円・当日400円

華道家元池坊香川県連合支部 ☎(0877)22-7203

7/12 池坊'98(華道家元池坊本部家元教授を迎え香川県池坊会員全員に
対する年に一度の華道講座) 9:00~16:00
丸亀市民会館 3,000円

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

8/2 第63回蓮見茶会(単独の当日券もあります)
栗林公園商工奨励館 1,200円(入園券・掬月亭の薄茶席共通)

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

6/7 香川官休会 月釜 9:00~15:00
席主 高橋照美・黒川武子 本覚寺 500円
7/5 香川官休会 月釜 9:00~15:00
席主 吉祥会 本覚寺 500円
8/2 香川官休会 月釜 9:00~15:00
席主 高原トシコ 本覚寺 500円

中條財団 七月 月釜 7月18日(土)・19日(日)

和更紗、金蘭綴子の仕覆に包まれた茶道具。
季節、趣向に合わせたひと結びの展観席です。

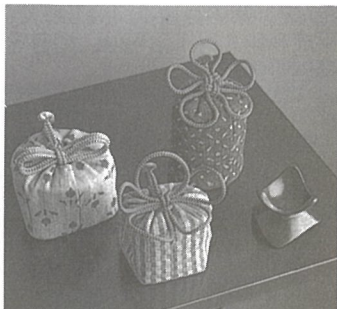
内容 展観席・濃茶席・薄茶席の三席
席料 2,500円
定員 1日160名まで(要予約)

手づくりの贅沢を茶道具で楽しむ未知草会高松教室の
ご協力により実現しました。

未知草会主宰 永井百合子先生

〈プロフィール〉

1948年、鳥根県松江市生まれ。
茶器袋物師。
茶道を習ううちに仕覆の美しさ
に魅せられ、門脇旭包氏に師事、
手ほどきを受ける。
現在は、東京・表参道にアトリエを
構え、袋物教室を開講。また、美術
館蔵品の仕覆制作や、花結びの
指導、NHKテレビ「おしゃれ工房」に
出演するなど活躍。著者に「茶器の
袋もの」日貿出版社刊。



お申込み、お問合せ

(助)中條文化振興財団 ☎(087)826-3355



讃岐の皆さんお待ちしています
立命館大学茶道研究部
八月二十三日(日)「夏季高松茶会」を中條財団で開催

立命館大学茶道研究部は「流派を定めない」
「特定の先生につかない」という伝統を守り
つつ、創部以来五十数年間活動を続けている。
分からないこと、知らないことは茶道の本を
読み、研究を深める。四十名弱の部員のうち
四割が男子学生というのも頼もしい。
昭和二十七年より毎夏、地元京都を離れ
て茶会を催し、全国各地の人々や、その地の
茶道文化と交流する。「高松茶会」は四十三
回目となる。
※席券は、中條財団でも扱っています。

席券 千円(薄茶二席)

時間 午前九時~午後三時

イ ベ ント ガ イ ド

香川県文化会館 ☎(087) 831-1806

~6/14 第63回香川県美術展覧会
(前期:洋画・彫刻・工芸) 9:00~
~7/5 館蔵品によるイサム・ノグチ展 9:00~
6/20~7/5 第63回香川県美術展覧会
(後期:日本画・書・写真) 9:00~
7/11~8/16 館蔵品によるイサム・ノグチ展 9:00~
8/22~9/20 香川県文化会館コレクション展 9:00~
8/22~9/20 館蔵品による藤川勇造展 9:00~

宮武画廊 ☎(087)851-2354

6/1~6/7 さぬき水墨会展風景約15点
6/8~6/14 原真知子版画展
6/22~6/28 北谷賢治の世界パートII
南ファミリー劇団座長襲名15周年おめでとう展
6/29~7/5 第13回竹堂木彫同好会展
お盆・茶器など約100点
7/6~7/12 VISION展IV
7/13~7/18 '99万成社新作カレンダー展

7/20~7/27 '97日本カメラ全国公募入賞受賞者
写真展 作品数100点
7/28~8/2 タダノ写真部写真展
8/3~8/9 香川県立盲学校児童・生徒作品展
8/10~8/16 土岐和義書作展

「文化通心」第19号は9月1日発行です。

次の期間(9月1日から11月末日)の情報を8月5日までにお知らせください。 ☎(087)826-3355 ☎(087)826-2212

イベントガイド

高松市美術館 ☎(087) 823-1711

- ~6/28 ボナノッテとデ・ミトリオ二人展 9:00~ ●
- ~9/6 第2期常設展 9:00~ ●
- 7/31~9/6 水木しげると世界の妖怪展 9:00~ ●
- 7/4 金昌国フルートリサイタル
エントランスホール 18:30~ ●

高松市市民会館 ☎(087) 839-2888

- 6/28 チャリティ映画会 10:00~・13:00~ ●
- 7/20 第4回世界アルツハイマーデー記念行事
松井久子監督講演と映画「ユキエ」上映
10:30~・13:00~ ●
- 7/23~24 信ちゃんマンガ映画大会
23日 (10:00~14:00)
24日 (10:00~) ●
- 7/25 親子まんが映画会 14:00~ ●
- 7/27 高松市老人クラブ連合会
「演芸のつどい」 ●
- 8/16 第11回香川県子ども邦楽演奏会
マスクブレイミュージカル ●
- 8/20 ぬいぐるみ人形劇 11:00~・14:00~ ●

玉藻公園管理事務所 ☎(087) 851-1521

- 7/5 菊作り講習会 披雲閣 杉の間
- 8/30 菊作り講習会 披雲閣 杉の間

高松市歴史資料館 ☎(087) 861-4520

- 8/4~9/20 第18回特別展 高松のまつり ●
- 香西宇佐八幡神社 (仮称)
特別展示室 9:00~

菊池寛記念館 ☎(087) 861-4502

- 6/28 文芸講座「ふるさと高松」 ●
- 講師 北條令子さん (随筆家)
3F第1集会室 10:00~
- 7/4 文芸講座「海と人間の記録」 ●
- 講師 徳山久夫さん (引田町歴史民俗資料館館長)
3F第1集会室 13:30~
- 8/1 文芸講座「応募小説を読ませていただいて」 ●
- 講師 今井泉さん (作家)
3F第1集会室 13:30~

高松市図書館 ☎(087) 861-4501

- 6/10 にこにこおはなしひろば ●
- (絵本読み聞かせ・ブックトークなど)
1Fおはなしのへや 15:00~
- 6/13 サンクリスタルコンサート ●
- 「日本の音~日本歌曲と邦楽器との出会い~」
3F視 聴覚ホール
(※6/3~整理券配布予定) 18:30~

高松テルサ ☎(087) 844-3511

- 7/24 スペイン音楽のタベ ●
- 滝澤三枝子ピアノリサイタル 19:00~
- 8/2 第6回香川チャーター音楽祭 14:00~ ●
- 8/4 ピアノ・打楽器ジョイントコンサート 18:30~ ●

オリブホール ☎(087) 861-0467

- 6/7 「レピッシュ」コンサート ●
- 6/25 「世紀魔II」 ●
- 7/15 「爆風スランプ」コンサート ●

セントラルホールウイング ☎(087) 833-0005

- 8/29 NLA全国高校生音楽祭 ●
- 香川県ライブ 13:00~

香川県民ホール グランドホール ☎(087) 823-3131

- 7/14 モーリス・ベジャール・バレエ団 ●

ミューズホール ☎(087) 833-0013

- 6/13 香川オーリーブ児童合唱団
第2回定期演奏会 13:30~
- 8/8 桜町中学校吹奏学部定期演奏会 13:30~
- 8/15 東京芸術大学香川県人会サマーコンサート

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877) 24-7755

- 6/6~7/19 ジュルジュ・ブラック回顧展 ●
- 3F展示室C 10:00~
- 7/29 古澤蔵ヴァイオリンコンサート 18:30~
- 8/30~10/18 森村泰昌・空装美術館 3F展示室C 10:00~ ●

丸亀市立資料館 ☎(0877) 22-5366

- 5/15~6/21 出土品にみる丸亀の歴史 1F展示室 9:30~ ●
- 5/23~6/28 万葉の花 写真展 2F展示室 9:30~ ●

丸亀市文化協会 ☎(0877) 24-8826

- 8/15~16 市民盆おどり大会 市民ひろば 18:00~

丸亀市民会館 ☎(0877) 23-4141

- 7/7~9 丸亀市民会館自主文化事業 ●
- オーケストラ鑑賞教室
関西フィルハーモニー管弦楽団
10:30~・13:10~・15:20~
- 7/17~18 第47市民夏季大学講座 ●
- (17日18:15~・18日13:00~)
- 7/19 地球環境ミュージカル ★
- 7/23 親子まんが映画会
- 7/25 丸亀市民会館自主文化事業 ●
- 羽田健太郎ハートフル・ピアノ・
ファンタジア 18:30~
- 8/2~3 香川県吹奏楽コンクール 9:50~
- 8/7 カンロお口の童話映画会 14:00~ ★
- 8/29 丸亀市民会館自主文化事業 ●
- 名画シアター「カサブランカ」
「誰がために鐘は鳴る」 10:00~

坂出市民ホール ☎(0877) 45-1505

- 6/14 親子映画大会 (アニメ映画) 14:00~ ●
- 7/3~5 坂出市民大学夏季講座 ●
- 3日講師 (神田 紅・岡本富士太) 18:00~
- 4日講師 (松原英多・石井苗子) 18:00~
- 5日講師 (沖藤典子・浜 美枝) 14:00~
- 7/29 親子まんが映画会 13:00~ ●
- 8/1 坂出大橋まつり
- 8/9 坂出商業高等学校吹奏楽部 ●
- 定期演奏会 19:00~

仁尾町文化協会 ☎(0875) 82-2143

- 8/7 仁尾雨乞い竜まつり前夜祭 ●
- (仁尾踊り・仁尾竜踊り・歌謡ショー)
仁尾町勤労者体育センター 18:00~
- 8/8 仁尾雨乞い竜まつり総踊り大会 ●
- (仁尾踊り・仁尾竜踊り・雨乞い竜の水あぶせ)
仁尾町仁尾浜地区 17:50~

多度津町民会館 ☎(0877) 33-3330

- 7/5 第8回多度津セカオウコンサート 10:00~ ●
- 7/31 たどつ夏まつり前夜祭 19:00~ ●
- 8/5 スーパー難波'98中国天津難波団 19:00~ ●
- 8/30 劇団四季ミュージカル 九郎衛門 15:00~ ●

綾上町教育委員会 ☎(087) 878-2305

- 6/21 主基斎田 お田植まつり ●
- (神事・早乙女と子どもによるお田植・斎田踊り)
綾上町主基斎田跡 14:00~
- 8/下旬 あやかみサマーフェスティバル (前夜祭あり) ●
- (町最大の夏祭り。花火・芸能など催し物多数)
綾上町ふれあい運動公園

総合会館アイレックス ☎(0877) 86-6800

- 6/26~28 塩田南獄書道展 小ホール 10:00~ ●
- 7/5 第21回全日本おかあさんコーラス ●
- 四国支部香川大会 大ホール
- 7/24 自主企画事業 夏季講座 ●
- (講師 橋 幸夫) 大ホール
- 7/26 ハートバレエ第2回発表会 大ホール 10:00~ ●
- あやうたまつり 全館 13:00~ ●
- 8/29 自主企画事業 京都市交響楽団演奏会 ●
- 大ホール 19:00~

飯山町教育委員会 ☎(0877) 98-7961

- 6/11 坂本念佛踊り奉納 ●
- 財田町香川用水取水口 10:00~
- 7/6~18 清風会員作品展 ●
- 役場別館5F作品展示室 8:30~

Co-Creation21 ☎(0875) 73-3868

- 6/21 キヨ・ササキ・モンロウ講演会 & ●
- グループセッション
綾歌町総合会館アイレックス
[昼の部] 講演会
「より豊かな人生を楽しむために」
大ホール 13:30~
- [夜の部] グループセッション
小会議室 18:00~

町立塩江美術館 ☎(087) 893-1800

- 6/9~21 第4回ほたるの里しおのえ ●
- フォトコンテスト 9:00~
- 8/10~24 第3回しおのえ国際青年芸術祭'98 ●
- (塩江美術館を中心に、国内外の若者と町民が
協力して写真の創作活動を行なう。)
- 8/11~9/6 全国子ども秀作美術展 9:00~ ●

牟礼町文化協会 ☎(087) 845-3111

- 6/18~30 染色パッチワーク展 ●
- 牟礼町石の民俗資料館 9:00~
- 7/4~15 陶芸・押絵・書道展 ●
- 牟礼町石の民俗資料館 9:00~

大内人形劇場 とらまる座 ☎(0879) 25-0400

- 6/13~14 ミュージカル人形劇ビバビ ●
- 「マリオンネットマシーンショー」
(10:30~・13:30~)
- 7/25~26 つばくろ人形座 ●
- 「いぬとねことねずみのはなし」
(10:30~・13:30~)
- 8/13~16 西畑人形座「岩見重太郎大蛇退治」(13:30~) ●

白鳥町教育委員会 ☎(0879) 26-1121

- 6/27 わんぱく広場② ●
- (スーパーキックベースボール)
白鳥中央公園 9:00~
- 7/11 わんぱく広場③ ●
- (スーパーなわとび)
白鳥中央公園 9:00~
- 8/15~16 24時間ソフトボールフェスティバル ●
- 白鳥中央公園 18:00~
- 8/22~23 わんぱく広場④ ●
- (家族ふれあいキャンプ)
白鳥中央公園 13:00~
- 8/30 生涯学習野外コンサート ●
- 白鳥中央公園 15:00~

志度音楽ホール ☎(087) 894-1000

- 6/21 手塚治虫生誕70周年記念映画祭 ●
- 「ジャングル大帝」上映 9:40~
- 6/27 徳島文理大学劇団Birth第14回公演 ●
- 「バンク・パン・レッスン」
14:00~・18:00~
- 7/12 志度中学校プラスバンド部 ●
- 第12回定期演奏会 16:00~
- 7/17 文化庁移動芸術祭巡回公演 ●
- 春季公演 東京演劇アンサンブル
「肝っ玉お母とその子どもたち」 18:30~
- 7/25 映画ポケットモンスター ●
- 「ミュウツーの逆襲」
「ピカチュウのなつやすみ」

茶の湯の勉強に、ご利用下さい
牟礼町学習センター
じょあん

「恕庵文庫」六月一日開館

全国でも珍しいスペースです



牟礼町在住の、裏千家淡交会高松支部副支部長伏見宗章先生は、所持している茶道具も含め、私財をすべて牟礼町に寄贈された。

「私の持っている物を利用して、少しでも多くの方がお茶に興味を持ってくだされば。袴を着けるのではなく、普段着のお茶、気楽にお茶を頂けるような社会になれば…」と、その思いを静かに話くださった。庵名の「恕」の文字は、広い心、おもいやりのある心を意味すると伺った。

茶道具の展示と、茶の湯の勉強のためのフリースペースとしての学習センターが併設。三千冊ほどの茶の湯関係の蔵書も閲覧できる。

六月の展示テーマ
「六月の茶趣」

所在地 牟礼町大字牟礼二七一五の一

☎(087)845・0791 (コトデン八栗駅下車、徒歩十分)

開館 水曜日・日曜日(午後一時から五時) 休館日(月)(火)

※ただしオープン日の六月一日(月)・二日(火)は開館します。

料金 学習室利用の場合のみ一時間につき五百円

問合せ 牟礼町石の民俗資料館

☎(087)845・8484

金曜日の夜は、タンゴを聴きませんか?



毎月第三金曜日 夜六時半
高松市美術館 階講堂

タンゴの魅力は?と伺うと、「抵抗かナ。…」との答え。「最下級の階層から生まれた悲しみの讃歌、人間讃歌に心がゆさぶられる。」と話してくださったのは、高松ポルテニア音楽研究会の岡田寛会長。

昭和30年から始まった月一回のレコードコンサートもこの五月で173回を迎えた。

継続は力。県下のタンゴ愛好家達が、第三金曜日の夜になると集う。

入場無料。興味のある方は直接会場へ。

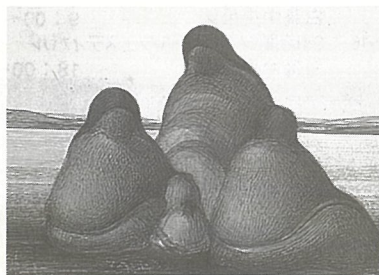
FERNANDO MONTES展

「アンデスの魂」

1998年6月18日～7月21日

ギャラリー「アコスタージュ」

高松市高松町3002 ☎(087)841-8200



Accostage
TAKAMATSU

大地と生命へ帰依するインディオの姿や、ボリビアの自然を、深い共感を込めて描き続けるフェルナンド・モンテス。

この喧噪の世相の真只中に身を置いている私達がいつしか忘れかけようとしている「大地へのオマージュ」の調べを、今一度、心を研ぎ澄ませて聴いてみませんか。

編集後記

今回は、茶室完成二周年の記念号とした。一年間、いろんな方が当財団を訪れてくださった。なかでも印象的なのは、茶の湯をやっている若い人達の礼儀正しさ。きちんとあいさつができ、受け答えができる。考えてみれば、当り前のことなのだが……。当り前に驚きと感動を覚える。ナニカヘン?

「声の届け先」

情報・声お待ちしています。

〒760 高松市番町二丁目二十二

財団文化振興財団編集部

TEL(087)826・3355

FAX(087)826・2212

